

21世紀に  
伝えたい  
**ちば**の魅力 No.30

歴博とサクラで知られる

# 佐倉城址



佐倉城本丸跡は広々とした芝生広場になっています

# どんなお城があったの？

佐倉市中央部を流れる鹿島川の脇の台地にある佐倉城址公園はサクラの名所として知られ、花見の時期には多くの人でにぎわいます。広さは26.8haで、本丸跡や二の門跡、三の門跡近くにある約750本のサクラはほとんどがソメイヨシノで、そのほかサトザクラ、ヤマザクラなど。樹齢は30～70年とみられています。夏には姥ヶ池近くのハナショウブ、秋にはイロハモミジの紅葉、冬の梅林と四季折々の彩りを見せる緑豊かな憩いの場所で、周囲に巡らされた水堀に昔の面影を残しています。

東京の乃木神社から移築された茶室「三逕亭」では日曜・祝日に茶席が一般開放されています。

この地に佐倉城が築かれたのは江戸時代初期の1616年(元和2)頃です。小見川藩から佐倉藩へ移ってきた土井利勝が幕府の命令によって新たに築城しました。遺構の調査によると城の規模は東西1,270m、南北860mに及び、総面積は約87haです。本丸、二ノ丸、三ノ丸のほか、水堀、空堀などがあり、石垣はみられません。土塁で囲まれた本丸にあった天守閣は三重四階の構造で高さは約27.5mです。1813年(文化10)に焼失した後は再建されませんでした。

江戸時代後期、房総最大の11万石の大名となった佐倉



三逕亭近くのサクラ並木

藩は、小田原や川越と同様に江戸の東方の守りとして重要な位置にありました。利勝以降の歴代城主はすべて譜代大名(関ヶ原の戦い以前から徳川家康と主従関係にあった大名)です。

明治時代に入ると、城の建物は旧陸軍の駐屯地となったためにすべて取り壊され、兵舎が建てられました。残された絵図や城門など数枚の貴重な写真から、かつての城の様子をうかがい知ることができます。

1983年(昭和58)、城址公園内に古代から近代までの歴史と日本人の民俗世界をテーマにした国立歴史民俗博物館が開館しました。日本の歴史と文化を総合的に研究・展示する唯一の国立歴史博物館で、「歴博」の愛称で親しまれています。常設・企画展示だけでなく、歴博講演会や小学生(高学年)と中学生を対象にした歴博探検も毎月開かれています。また現在、開館20周年記念展を開催中です(P4参照)。

交通 ■京成電鉄・京成佐倉駅から徒歩約15分  
★佐倉市観光協会 ☎043-486-6000  
H・P <http://www.sakurashi-kankou.or.jp>



「総州佐倉御城内之図」(部分) 1750年代頃。佐倉市所蔵・佐倉市指定文化財



明治初期に撮影された佐倉城大手門。現在の佐倉中学校正門の位置にありました(菅谷義範氏所蔵)



サクラに混じって本丸跡にある「夫婦モッコク」(県指定天然記念物)



## 最初の城主ってどんな人？

新しい佐倉城の初代城主・土井利勝は徳川家康、秀忠、家光の三代の将軍に仕えました。藩主である一方、老中や大老の要職にも就きました。特に家光の時代には参勤交代制や武家諸法度を定めるなど幕府の基礎を固めました。佐倉城には利勝以後20人の藩主が入りますが、すべてが譜代大名で、幕政にも深く関わりました。

1746年(延享3)山形から佐倉に転封となった堀田正亮以後廃藩置県に至るまで、6代にわたる堀田氏の時代は房総最大の11万石を111年間維持しています。佐倉藩の領地は下総、下野、相模、常陸、武蔵、出羽の6か国に分散してありました(1859年)。

佐倉市弥勒町にある松林寺に利勝の父母と夫人の供養塔があります。また同市鍋木町には最後の城主となった堀田正備の邸宅と庭園が残っています。



松林寺にある利勝の父母と夫人の供養塔



旧堀田邸は明治時代の和風建築で、一般公開されています

- 開館時間 10:00~16:30(月曜休館)
- 入館料 一般310円、児童・学生150円

## 「蘭学」ってなんだろう？

幕末期、19代目の佐倉城主となった堀田正睦は老中として開国を唱える一方、文武

## 城下町はどんなところ？

土井利勝は城郭とともに城下町も整備しました。細長い丘陵地の山林を開拓し、城の防御のために道は狭く、見通しがきかない直角の曲り角を数カ所につくりました。道の両側には200軒の町屋が並び主に藩士を相手にした日用品を扱っていました。

毎年春に行われている「佐倉・時代まつり」のハイライトは、大名や姫君、鎧武者などに扮した約100人が旧城下町を行く時代行列です。今年は振り袖隊も加わり4月19日に行われます。また市内には江戸時代後期の武家屋敷が3棟あり、内部の見学ができます。●佐倉・時代まつり実行

奨励と財政の立て直しを図る藩政改革を進めました。1836年(天保7)佐倉学問所を発展させて開いた藩校「成徳書院」の特徴は、儒学や武芸のほか洋学(西洋の学問)を積極的に取り入れたことです。鎖国をしていた日本にとって洋学といえばオランダとの外交でもたらされた蘭学です。江戸で評判の蘭方医・佐藤泰然は正睦に佐倉に招かれ、医塾と診療所を兼ねた「順天堂」を創設。塾生は全国から集まり、後に「西の長崎、東の佐倉」といわれるほどに蘭学の盛んな地になりました。順天堂の建物の一部は保存され、関係資料が展示されています。

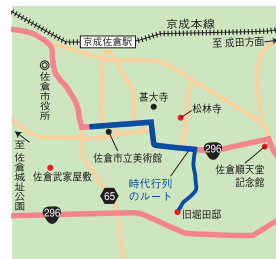
佐倉順天堂記念館



左/武家屋敷通り  
下/旧城下町の通りを  
行く華やかな時代行列



委員会事務局  
(商工会議所内) ☎ 043-486-2331  
H・P <http://www.sakuracci.or.jp/>



## くらしに役立つ植物見つけた！

国立歴史民俗博物館の「くらしの植物苑」では生活文化を支えてきたさまざまな植物を「食べる」「織る・漉く」「染める」など6つの用途に分けて栽培し、人と植物との関わりを紹介しています。

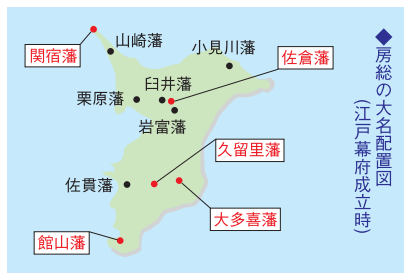
- 開苑時間 9:30~16:30 (月曜休苑)
- 入苑料 小学生以上 100円



春の特別企画「伝統のサクラソウ」

# 江戸時代へタイムスリップ！春本番の城下町へ

1590年(天正18)、豊臣秀吉により小田原城の北条氏が滅亡すると、それまで北条氏の勢力下にあった下総・上総の領地には関東に国替えとなった徳川家康の家臣たちが配置されました。唯一の外様大名であった安房の里見氏が国替えとなった後は、房総三国はすべて譜代大名が治めることになり、江戸の守りが固まりました。県内で確認されている近世城館跡(城、陣屋、屋敷)は約100か所。現在、城跡付近に城郭様式の博物館などがある4か所をご紹介します。



## ★★★展覧会トピックス・さくら★★★

■国立歴史民俗博物館 ☎ 043-486-0123  
開館20周年記念展示「はにわ〜形と心〜」  
6/8まで開催 料 一般830円、高校・大学生  
450円、小・中学生250円 開 9:30~17:00  
休 3/31、4/7・14・21、5/6・12・19・  
26、6/2 H・P <http://www.rekihaku.ac.jp/>  
■佐倉市立美術館 ☎ 043-485-7851  
佐倉・房総ゆかりの作家たち〜新収蔵作品展  
4/8~5/11 料 無料 開 10:00~18:00  
休 4/14・21・28、5/6  
H・P <http://www.city.sakura.chiba.jp/museum/>

## 関宿城

- A 東葛飾郡関宿町久世曲輪
- B 平地、750m×700m
- C 郭、水堀、土塁、石垣、土橋
- D 千葉県立関宿城博物館 ☎04-7196-1400
- H・P <http://www.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/index.htm>
- E 関宿城フェスティバル/10月

東北の大名に対する備えや関所管理などの点で幕府が重要視し、有力な譜代大名を配置。初代藩主・松平康元は家康の異父弟です。石高は最大で7万3千石で十四代藩主・牧野成貞の時です。本丸跡近くに県立関宿城博物館(写真)があります。



## 大多喜城

- A 夷隅郡大多喜町大多喜字二ノ丸他
- B 丘陵・平地、950m×350m
- C 郭、腰曲輪、空堀、水堀、虎口、櫓台等
- D 千葉県立総南博物館 ☎0470-82-3007
- H・P <http://www.chiba-muse.or.jp/SONAN/index.htm>
- E 大多喜お城まつり/9月

1590年(天正18)、この地に十万石で入った家康の重臣・本多忠勝は、蛇行する夷隅川中流の地形を利用し、天然の要害ともいえる強固な城を新たに築きました。陸上交通の要所でもあったため大規模な城下町が発展しました。本丸跡に県立総南博物館(写真)があります。



※A所在地、B立地と規模、C遺構、D関連施設、E地域の関連イベント

※城郭用語：郭(くるわ)…本丸、二ノ丸のように土塁や石垣などで区画された部分のこと。曲輪(くるわ)…「郭」に同じ。

腰曲輪(こしくるわ)…本丸の腰部に当たる位置にある段のある曲輪。虎口(こぐち)…一の門、二の門などの城の出入口。

参考資料「千葉県所在近世城館跡詳細分布調査報告書」『房総の城下町45』ほか

## 久留里城

- A 君津市久留里字城山
- B 丘陵、1150m×1000m
- C 曲輪、土塁、虎口、土橋、櫓台、空堀等
- D 君津市立久留里城址資料館 ☎0439-27-3478
- E 久留里城祭り/10月

標高145mの丘陵を本丸とした房総の山城を代表する大城郭で、家康の家臣・大須賀忠政が城主として入り、3万石を治める。1742年(寛保2)以後は黒田氏の居城となりました。本丸跡に天守閣(写真)が、二ノ丸跡に久留里城址資料館があります。



## 館山城

- A 館山市館山字城山
- B 丘陵、850m×750m
- C 曲輪、腰曲輪、空堀、水堀、土塁、虎口等
- D 館山市立博物館 ☎0470-23-5212
- E 館山里見まつり/10月

江戸幕府成立後、房総唯一の外様大名・里見氏の居城。安房一国を治めた12万2千石の大藩でしたが、1614年(慶長19)に里見忠義(はらみ の ちよひ) (鳥取県)に転封となり、城も壊されました。館山湾を見下ろす城跡に市立博物館分館(写真)があります。

